

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



羽村市生涯学習基本計画を策定しました 平成 24 ～ 33 年度



▼基本理念▲

市民一人ひとりが生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動を通じて人格を磨くとともに、その過程を通じて人と人がつながり、学んだ成果を地域や社会に還元し、豊かな人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を目指し、生涯学習推進のための基本理念を次のように定めます。

楽しく学び

生涯にわたって、市民や団体等がいつでもどこでも主体的に楽しく学習することができ、喜びや充実感を持てるようにします。

つながり

地域で活動する市民や団体等が互いに連携・協力し、学び支え合う中で、人と人とのつながりが深まり、豊かな人間性や活力ある地域コミュニティが育まれるようにします。

活かす

学んだ成果が人や社会のために活かされるとともに、次世代へと循環し、活力と創造性にあふれ、心豊かな安らぎに満ちたまちづくりにつながるようにします。

生涯学習

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

羽村市生涯学習基本計画

この計画は、「第五次羽村市長期総合計画」（平成24年度から平成33年度の10年間）との整合を図り、幅広い生涯学習関連施策をライフステージごとに学ぶ人の視点から総合的に体系化しています。

ライフステージ別施策

○乳幼児期（0～5歳）

- ・ 基本的な生活習慣を確立し心身の発達を促すために
- ・ 保護者の育児不安を解消し安心して子育てするために
- ・ 地域・社会で子育てを支援し子どもの笑顔をまちづくりの活力に

○少年期（6～15歳）

- ・ 確かな学力が身につくように
- ・ 豊かな心が育つように
- ・ 健康な身体の成長を
- ・ 多様なニーズに対応した教育を
- ・ 地域社会で学ぶ機会を充実し学習の成果を活かせるように
- ・ 健やかな成長を支える環境を充実

○青年前期（16～22歳）

- ・ 成人としての節目を捉え社会に巣立つための基礎づくりに
- ・ 学習活動の成果を活かしふるさと意識が深まるように

○青年後期（23～39歳）

- ・ 家庭の中心と社会の中堅を担う自立した社会人としての生活が送れるように
- ・ 再チャレンジと生涯を通じたキャリアアップを
- ・ 地域との関わりを持ちながら社会参加できるように

○壮年期（40～64歳）

- ・ 円熟した人格が形成され充実した社会生活が送れるように
- ・ 新たな生活ステージを視野に入れた生きがいづくりと地域活動への参画を

○高齢期（65歳以上）

- ・ 一人ひとりの自己実現に向けて
- ・ 健康で生きがいのある生活ができるように
- ・ 生活の中で安全と安心を自ら手にできるように
- ・ 豊かな人間性を地域社会で活かしていけるように

問合せ 生涯学習総務課

平成24年度 教育委員会「教育目標」

教育目標でも生涯学習基本計画との整合性を図りました。

今年度は4つの基本方針に基づいて、主に次の事務事業を実施していきます。

詳しくは、市ホームページで確認してください。

問合せ 生涯学習総務課

●基本方針1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

★総合防災訓練への小中学生の参加促進

★教育相談員、スクールカウンセラーによる教育相談の実施

●基本方針4

「生涯学習」の推進

○「伝統文化交流事業inゆとりぎ」の実施

○多摩・島しょスポーツ振興事業の実施

○生涯学習基本計画推進懇談会（仮称）の設置

○第68回国民体育大会（多摩国体）の開催に向けた取り組み

○市指定文化財の保護

★子ども読書活動の推進

★登録郷土研究員の育成

●基本方針3

「市民の教育参画」と「総合的な教育力」の充実

○多摩・島しょ子ども体験塾事業の実施

★学校支援地域本部（仮称）の設置（三中学校区の運営試行）

★職場体験サポート事業の実施

●基本方針2

「豊かな個性」と「創造力」の伸長

★小中一貫教育推進のためのコーディネーターの配置

○羽村第一中学校特別支援学級の開級

○羽村第三中学校通級指導学級の開級（準備）

○入学資金融資制度の実施

○教育用コンピュータの更新

○新規事業

○レベルアップ事業

★重点事業

学校長紹介

市内小学校7校、中学校3校の学校長を中学校区ごとに紹介します。
問合せ 学校教育課

少年期

羽村一中校区	 <p>羽村東小学校 校長 渡邊 慎吾</p> <p>着任二年目、保護者・地域の皆様方と手を携えて、子どもたちのためにがんばります。最大のライバルは「昨日の自分」です。</p>	 <p>羽村西小学校 校長 大山 紀子</p> <p>子どもたち一人一人が自信をもって意欲的に学ぶ学校を目指し、教職員一同一丸となって教育活動にまい進します。</p>
	 <p>小作台小学校 校長 海東 朝美</p> <p>自信を持って自己表現できることは、一生の財産です。今年度、小作台小学校は、「自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる子」を目指します。</p>	 <p>羽村第一中学校 校長 吉田 哲三</p> <p>子どもたちの成長と教育の充実に関心を持って取り組む覚悟です。特に、小中一貫教育、特別支援教育に力を入れます。</p>
羽村二中校区	 <p>富士見小学校 校長 坂井美恵子</p> <p>顔は心の出張所、子どもたちの満面の笑顔に出会うため、今年もアクションプランの充実に取り組めます。</p>	 <p>栄小学校 校長 山崎 尚史</p> <p>子どもたちの「夢」が実現できるように、将来につながる「質の高い栄小の教育」を全職員でつくりあげます。</p>
	 <p>松林小学校 校長 武藤 和裕</p> <p>地域に貢献できる児童育成の礎を、教職員一同力を尽くして参ります。よろしくお願いたします。</p>	 <p>羽村第二中学校 校長 愛甲 慎二</p> <p>分離型の小中一貫教育の完全実施初年度になります。三中校区とは一味違う素晴らしい学校づくりに力を注ごうと思います。</p>
羽村三中校区	 <p>武蔵野小学校 校長 中村 匠</p> <p>地域、保護者との連携を大切に、先行実施した昨年度の検証を生かした三中校区小中一貫教育を推進します。</p>	 <p>羽村第三中学校 校長 淵上 勝則</p> <p>小中一貫教育を柱に、地域の宝、羽村の宝、日本の宝である子どもたちを全教職員で光輝かせます。</p>

羽村三中校区小中一貫教育について

市ホームページでも「小中一貫教育の取り組み」を掲載しています。
 (市ホームページ) 羽村市教育委員会「小中一貫教育」取組み

平成23年度に先行実施してきた施設隣接型の羽村三中校区(羽村第三中学校・武蔵野小学校)の「中1ギャップ解消」に向けた取組みについて報告します。

1年間の成果と課題を踏まえ、今年度から始まった全中学校区における小中一貫教育をよりよいものとしていきます。

問合せ 学校教育課小中一貫教育担当

乗り入れ授業の検証

英語乗り入れ授業後の児童の振り返りカードには「中学校の先生のおかげで自己紹介ができるようになった。何よりも英語が好きになりました。また次の機会に教えてください。」と書かれていました。

小学校で乗り入れ授業を経験してきた中学生は、英語教員の英語での指示や質問をよく理解し、ALTと積極的にいかかわったり、自習ノートで進んで英語の学習をしたりしています。

平成23年度に行った中学校1年生(現中学校2年生)を対象としたアンケートでは「中学校の先生が小学校に来て教えてくれたことは『中



学校を知る』ことに役立つと思いますか。」との問いに、英語科、数学科ともに70パーセント以上の生徒が役立つたと答えています。

乗り入れ授業は、子どもたちからの視点だけではなく、中学校の先生が小学生の様子や指導内容、指導方法など『小学校を知る』ことで教員としての指導の幅を広げる意味もあります。小学校の先生が中学校へ行くことも同様です。小

学校と中学校の教員の相互乗り入れ授業を通じて、子どもたちが『中学校を知る』こととともに、授業改善を進める中で『不安解消』につながるように、今年度も効果的な乗り入れの方法等を研究・実践していきます。

中学校体験の検証

中学校体験では武蔵野小学校の6年生が羽村三中进行き、中学校の授業や部活動を体験します。

児童・生徒に行ったアンケートでは「体験授業で体験したことは『中学校を知る』ことに役立つと思いますか。」との問いに、小学校では95パーセントの児童が役立つたと答え、中学校では87パーセントの生徒が小学校時の体験が役立つたと回答しました。また、「部活動体験に参加したことは『不安解消』に役立つと思いますか。」との問いでは70パーセント以上の生徒が役立つたと答えています。

体験授業は小学生にとつて中学校を知る貴重なものであったようです。また、部活動体験では、自分の進みたい部活動に体験入部することで、部の雰囲気、先輩たちとのふれあいを通して「不安解消」につながったようです。



学校アンケートの結果

平成23年度より保護者を対象とした学校アンケートの中で「武蔵野小学校と羽村第三中学校は、施設隣接型として、小中一貫教育の取組みを通して、子どもたちの学習や生活をよりよいものに行っている。」という項目を加えました。

この結果、小・中学校の平均で約70パーセントの保護者の方にプラスの評価をいただきました。

詳しくみると、小学校1年生の保護者の80パーセント、小学校6年生の保護者の95パーセントがプラス評価となっています。これは、小学校の

入学期や中学校との接続期へのきめ細かい取組みが評価されたものと考えられます。他学年においても子どもたちの学習や学校生活を更に充実させ、小中一貫教育の取組みのよさが伝わるようにしていきたいと考えています。

社会教育関係委員を委嘱・任命しました

羽村市の社会教育行政の大きな力となる社会教育関係委員の委嘱式を4月14日に行いました。任期は、平成26年3月31日までの2年間です。

社会教育関係委員(敬称略)

■社会教育委員

◎議長 ○副議長

学校教育関係者	愛甲 慎二	家庭教育の向上 活動者	若松 仁
社会教育関係者	○田村 義明	学識経験者	島田 真宏
	渡部 清孝		◎川津 紘順
	小林順一郎		岡部 武彦
	石川 千寿		鈴木 君子

社会教育委員の会議…羽村市の社会教育がどうあるべきか、課題と解決策を研究し、教育委員会に助言します。

■文化財保護審議会委員

◎会長 ○副会長

和田 哲	○坂上 洋之	◎白井 裕泰	坂詰 智美
金子 淳	島田 秀男	畔上 直樹	

文化財保護審議会…羽村市の文化財の保護や活用について、調査・協議し、教育委員会に建議します。

■スポーツ推進審議会委員

◎会長 ○副会長

学校教育関係者	渡邊 慎吾	社会教育関係者	藤田 友美
社会教育関係者	◎柴田 俊男	学識経験者 関係行政機関職員	秋田 裕子
	○青島 一也		中村 平
	新島二三彦		澤村 航
	小山 茂樹		

スポーツ推進審議会…羽村市のスポーツ推進に関する重要事項について調査・審議し、教育委員会に建議します。

■スポーツ推進委員

◎会長 ○副会長

◎新島二三彦	○吉江 友秋	○田村 芳雄	森田 幸雄
加藤 正美	○岡 あけみ	堀口 和美	正親 和代
渋谷 権司	山本 裕夫	佐々木さと子	梅垣 明子
宇都 光典	山下 博彦	郷 佳代	高橋 光子
竹本ちよの	板垣 毅		

スポーツ推進委員協議会…羽村市のスポーツ推進のために、市民へのスポーツに関する指導・助言（実技指導も含む）を行います。

■図書館協議会委員(任期：平成23年7月1日～平成25年6月30日)

◎会長 ○副会長

学校教育関係者	海東 朝美	家庭教育関係者	山本 一代
社会教育関係者	愛甲 慎二	学識経験者	◎塚原 博
	関澤 和代		○野元 弘幸
	堀 茂子	市民公募委員	藤澤 穰
家庭教育関係者	水嶋 恵子		石川 千寿

図書館協議会…図書館の運営のために必要な事項について調査・協議し、教育委員会へ意見具申します。

問合せ 生涯学習総務課・スポーツ推進課・図書館

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

乳幼児期

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

校長先生の「私の一冊」

『宮沢賢治童話集』

小学校中学年の頃だったでしょうか、祖母の知り合いのお姉さんに宮沢賢治の童話集をいただきました。

この本には「雪渡り」や「どんぐりと山猫」「セロ弾きのゴーシュ」「よだかの星」など有名な話がかかっています、繰り返し繰り返し読みました。独特な空間に主人公が入りこみ、不思議な体験をする面白さはもちろんなのですが、物語の最後に感じ、ふとした寂しさや悲しさ、

もう元には戻れないのだという気持ちになるところにとても惹かれました。

子どもの頃の読書体験はその後にも影響を与えるようです。気に入る話（映画や漫画も含め）は何らかの形で宮沢賢治の童話との共通点があるように思います。

小学生の頃にももらった宮沢賢治の童話集は三十数年たった今でも本棚にあり、大切にしています。

栄小学校
校長 山崎 尚史

子ども体験塾 柔道教室



日時 7月1日(日)
午後1時30分～4時まで
会場 スポーツセンター

講演会 講師：齊藤仁さん
(ロサンゼルスオリンピック、ソウルオリンピック柔道金メダリスト、国士舘大学体育学部教授)

模範演技 国士舘大学柔道部員による模範演技
実技指導

参加費 無料

申込み 市内中学校およびスポーツセンターで案内を配布します。実技指導希望の場合は事前に申し込んでください。
※講演会・模範演技の見学は自由です。直接、会場にお越しください。

主催 羽村市・羽村市教育委員会
協力 羽村市柔道会

校・羽村第一中学校・羽村第二中学校・羽村第三中学校

問合せ スポーツ推進課

第二次羽村市子ども読書活動推進計画を策定しました

この計画は、子どもが自主的に読書活動を行う環境を整えるため、市が今まで行ってきた子ども読書活動の推進に関する施策を体系化した上で、家庭、地域、学校、図書館それぞれにおいて、子どもの読書活動を推進するための課題を明らかにし、市と市民、関係機関が連携して取り組む諸方策を示すことを目的としています。

計画の基本的視点

- 一、子どもの自主的・自発的な読書活動の支援
- 二、親子で読書を楽しむ環境の整備
- 三、家庭・地域・学校における読書環境の整備
- 四、情報化社会における読書活動の意義についての啓発
- 五、社会全体での読書活動の推進

計画の期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間です。

計画の対象は、0歳からおおむね18歳までの子どもと子どもの読書活動に携わる市内の関係機関・施設及び地域住民です。
※本計画は、市政情報コーナー、図書館、市ホームページでご覧いただけます。

問合せ 図書館

社会教育関係団体補助金説明会

学習・文化活動やスポーツ・レクリエーション活動などの社会教育活動を行う団体に、補助金を交付しています。

補助金の交付を希望する団体は、説明会へ出席してください。

日時 5月12日(土) 午前10時～

会場 ゆとりぎ講座室1

内容 補助金の交付基準について、補助金交付手続きについてなど

その他、質疑応答
対象事業 市民の社会教育やスポーツなどの普及に役立ち、多くの市民のために行われる事業

※直接会場へお越しください。会場の都合により各団体2人まででお願いします。

※補助金の交付には、一定の要件が必要です。詳しくは、問い合わせてください。

※補助金の交付を希望し、欠席した団体は、5月15日(火)以降、文化団体は市役所西庁舎3階生涯学習総務課窓口、スポーツ団体はスポーツセンター受付で資料を配布しますが、詳しい説明はできない場合があります。

問合せ 生涯学習総務課・スポーツ推進課

ゆとろぎの講座で
学びの春、スタート！

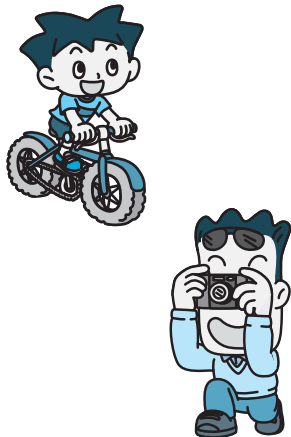
ゆとろぎでは、年間を通じて、皆さんの学習意欲に応じた多種多様な講座を開催しています。

今年度は、サイクリング講座など健康の保持・増進のための講座や、デジタルカメラ入門など趣味の幅を広げる講座を準備しています。

また、文学講座では、万葉集などの和歌で文学の歴史をひもとき、科学関連の講座では、受講者の想像力をかきたてる内容の講座を予定しています。

そして、市民大学講座では、今年も大学の協力を得て、レベルの高い充実した講座を受講者の皆さんが身近なゆとろぎで学ぶことができます。各講座の内容は、隔月に市内全戸に配布する、ゆとろぎイベントガイドで案内し、受講者を募集します。

問合せ 生涯学習センターゆとろぎ



平成23年度
羽村市教育委員会表彰
羽村市教育委員会ほう賞



3月13日、生涯学習センターゆとろぎで、平成23年度羽村市教育委員会表彰及び教育委員会ほう賞の授与式を行いました。

教育委員会表彰は31人、2団体

教育委員会表彰では、クラブ活動などで優秀な成績をおさめた小学生16人、中学生9人・2団体、高校生3人、大学生3人を、教育功労者として市民の模範となる活動を行った1人を表彰しました。

教育委員会ほう賞は1人、6団体

また、教育委員会ほう賞では、市の教育環境の向上に寄与された個人1人、中学生の職場体験の受け入れ事業所の確保に尽力された6団体に感謝状を贈呈しました。被表彰者及び被ほう賞者の氏名、内容などは市ホームページでお知らせしています。

問合せ 生涯学習総務課

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	小作台小学校	Tel 554-1431
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	武蔵野小学校	Tel 555-6904
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第一中学校	Tel 554-2012
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	羽村第三中学校	Tel 555-5131
弓道場	Tel 555-9255				

教育随想

地域ぐるみで人を育てる

「マロニエ学級」開級



寒く長かった冬も終わり、満開の桜に包まれた春。羽村第一中学校に特別支援学級「マロニエ学級」が開級しました。

特別支援教育は、子どもへの障がいや理解し、豊かな人生を送ることができるようにするための支援です。色々な出会いや体験も含め、このマロニエ学級の開級を期に、地域の皆様にも、特別支援教育について広く知っていただき、ご協力もいただけたなら羽村市の特別支援学級に在籍する児童・生徒の将来への不安感や、はたまたま安心感も違ってくるのではないかと考えます。

特別支援教育は特殊な教育をするのではなく、全ての子どもを包み込み、大切に育てていく教育だということも忘れてはならないと思います。

今、大切なのは一人ひとりの良さを生かす教育です。見つけ、気付け、伸ばす教育。この学級の果たす役割の大きさを感ぜずにはられません。

教育委員会委員長 野崎 喜久美

少年期

青年前期

青年後期

壮年期

高齢期

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

体育協会年間事業予定

- 5月 13日(日) 第65回都民体育大会開会式(羽村市委託事業)
- 5月 19日(土) 平成24年度NPO法人体育協会通常総会
- 7月 29日(日) 第37回はむら夏まつり「パットゴルフ大会」
- 10月 7日(日) 第65回市民体育祭(羽村市委託事業)
- 11月 23日(金) 第36回NPO法人体育協会完歩大会
- 2月 スポーツカレンダー作成(教育委員会と共催)
- 3月 3日(日) 第31回羽村市駅伝大会(羽村市委託事業)

羽村市からの委託事業

- ・富士見公園クラブハウス受付事務委託
- ・スポーツ事業委託
- ・スポーツセンタートレーニングルーム業務委託

特定非営利活動法人
羽村市体育協会
Tel 5555-1998

体育協会は、昭和38年10月に体育関係団体6団体で設立し、平成16年1月にNPO法人となりました。
現在は、22団体、4911人の会員を有し、市内スポーツの統括団体となっています。

羽村市文化協会 Tel 080-2558-1010

芸術・文化の向上を目指して

文化協会は、市の芸術・文化の向上を目的に、平成17年6月に設立し、加盟個人・団体数は93となっています。

昨年度は、東日本大震災の被害と悲しみの中、主催事業を中心にさまざまな事業を展開してきました。今年度も市や教育委員会が実施する各種事業の企画などさまざまな協力を行っていく予定です。

平成24年度の取組み

今年度も、主催・共催事業として、「羽村市美術・工芸展」「羽村舞踊まつり」「サロンコンサート」を開催します。

市の芸術・文化の祭典「羽村市文化祭」には、実行部隊として参画します。

また、産業祭など各種行事への協力や保育施設、養老施設への慰問、小・中学校への教育支援などを実施していきます。

循環型生涯学習社会の実現に向けて

文化協会は、今年も市の芸術・文化の向上を目指し、循環型生涯学習社会の実現に向けて活動していきます。

●第35回サロンコンサート

5月6日(日)12時～
生涯学習センター
ゆとろぎロビー
「羽村フィルハーモニー
管弦楽団による室内楽コンサート」

●第36回サロンコンサート

6月16日(土)12時～
生涯学習センター
ゆとろぎロビー
「法政大学ギタークラブ
OBコンサート」

●文化協会総会

5月26日(土)14時～
生涯学習センター
ゆとろぎ小ホール